

令和5年度 大館市立花岡小学校 学校評価書(前期 ・ 年度)

A 学校教育目標

自立した子どもを育てる	
めざす児童像	心身共に健やかな子 人を大切にする子 学びを楽しみ、広げ深める子 チャレンジングな子

B 本年度の重点目標

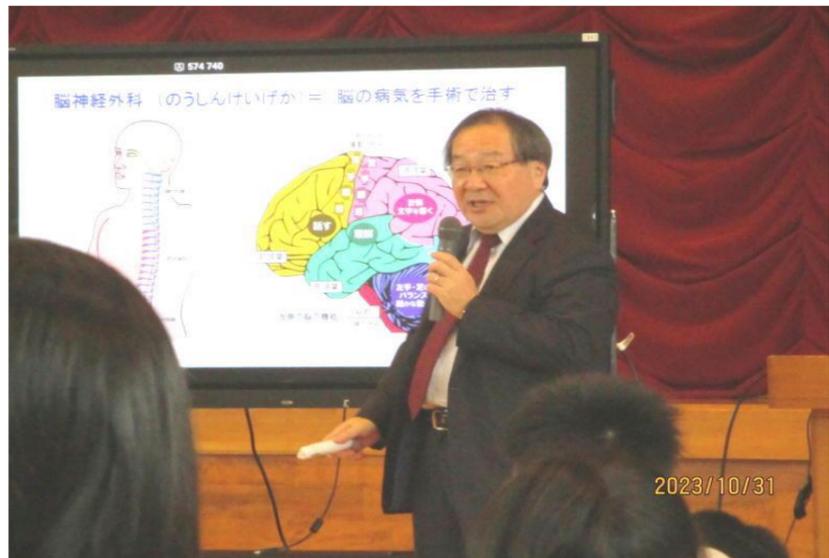
◎ 課題対応能力の育成

C 学校経営の特徴

◇課題対応能力を育成する学校行事、児童会活動(チャレンジ活動) ◇明るく楽しい学級づくり ◇チャレンジ授業とベーシック授業 ◇開かれた学校づくり



【ココロの授業】(ファミリーネットワーク 村岡昇氏)



【ようこそ先輩】(脳外科医 成田善孝氏)



【命の授業】(助産院イスキア 菅原光子氏)



【矢立小とリモート授業】

【北海道別海町でチャレンジ授業】

D 評価

アンケート回答者 保護者28/32世帯、児童4、5、6年生26名、教職員10名

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い/数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある/数値目標に対し80~99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好/数値目標に対し60~79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定/数値目標に対し40~59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する/数値目標に対し39%以下の達成

I 心身共に健やかで人を大切にする子どもの育成

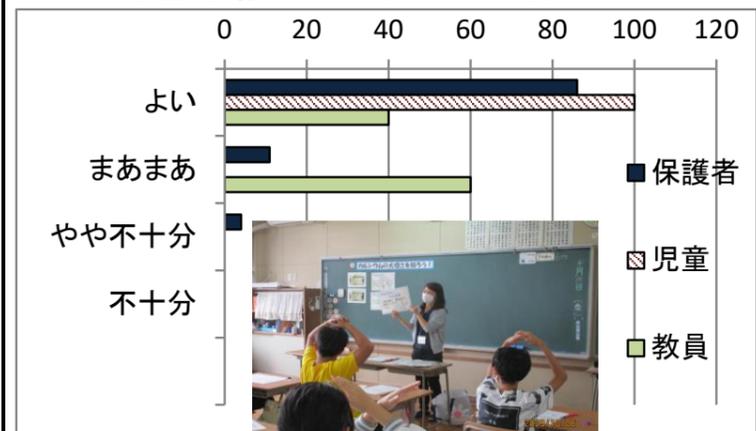
健康な心と体をつくろうとするとともに、規範意識をもって自他の心や人間関係等を大切にすると人間尊重の精神を育てている。	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
	前期	おおむね良好	おおむね良好
年度	おおむね良好	良好	年間を通じて専門家の力を上手に活用している。継続的な取組が、子どもたちの心身の安定に寄与している。食育については「ペロリ賞」というユーモアあるネーミングのもと、SDG'sの視点も取り入れ実践されていることを高く評価する。メディアコントロールについては、子どもと保護者の見解の違いは見られたが、学校としてできることを諦めず実践し続けてほしい。

自己評価の改善策と学校の概要	【前期(→年度)】 給食センターの栄養教諭による「食に関する指導」や、学校歯科医師による「歯磨き指導」など、外部の講師を活用した指導が、児童への意識付けになり、生活習慣の向上につながっている。体育館の割り当てや、外遊びの呼びかけなど、児童の委員会活動での呼びかけにより、少しずつ外に出て遊ぶ児童が増えてきている。今後は、体力向上も念頭に置き、継続的に取り組めるようにしていきたい。また委員会活動では、決めたことをしっかり実行できるようにするため、活動の目的や役割について確認し、上級生が見通しをもって、下級生をリードしていけるように指導していきたい。
	【年度(→次年度)】 後期には、助産師による「いのちの授業」、ココロの授業などが、児童の心の成長につながってきた。また、薬物乱用防止教室、食育など、専門の先生に指導をしていただいたことは、説得力がありとても効果的だった。給食の「ペロリ賞」は、残さずに食べることで子どもたちの生活習慣の向上だけでなく、残飯を減らすSDGsの面からもよい取組となった。委員会によるスポーツ大会の開催などにより、継続的に運動に取り組むことができた。中休みや昼休みの体育館使用割り当てや、遊びのルールなども児童の委員会活動で検討し、効率よく活動できるようになってきている。運動能力の向上に関しては、5月の運動会に向けて縄跳びの練習など、冬期間から継続して取り組ませていきたい。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 心身の健康づくり	(1)生活習慣向上に向けた実践	生活習慣指導、食育指導、保健・健康教育等	3	3
	(2)継続的な体力づくりの取組と体力の向上	体力検定・なわとび運動等 多様な遊びの奨励と環境整備		
2 人間尊重の精神	(3)集団の一員としての自覚ある言動	縦割り班活動・委員会活動・学校行事等での活動	3	3
	(4)明るさ・活力・自他を大切にすると学級づくり	学級指導・学級活動の充実 こども哲学		

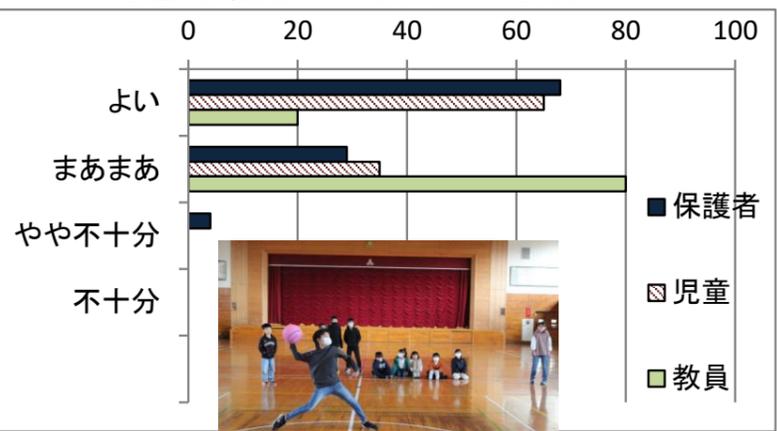
【1に関するデータ】 【保護者アンケート自由記述より】
 ・毎日楽しく学校生活を送ることができている様子です。
 ・食べ物好き嫌いが4月に比べてなくなったように感じる。先生方の日頃の声かけのおかげと思っています。

○生活習慣向上に向けた取組を行っているか。
 (平均値 保護者3.82 児童4.00 教員3.40)



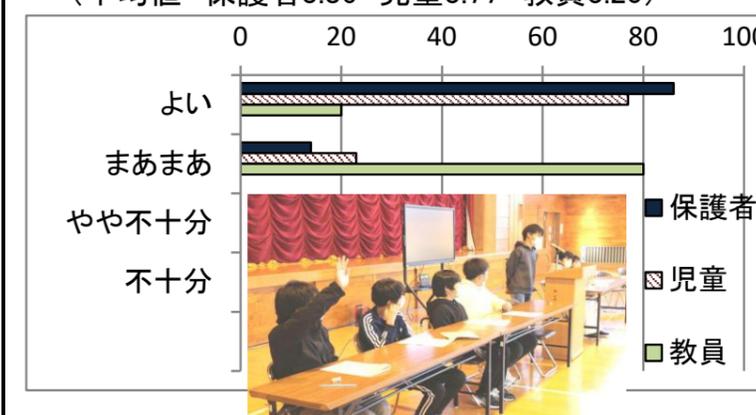
【栄養教諭による食育授業】

○継続的な体力作りにも努めているか。
 (平均値 保護者3.64 児童3.65 教員3.20)



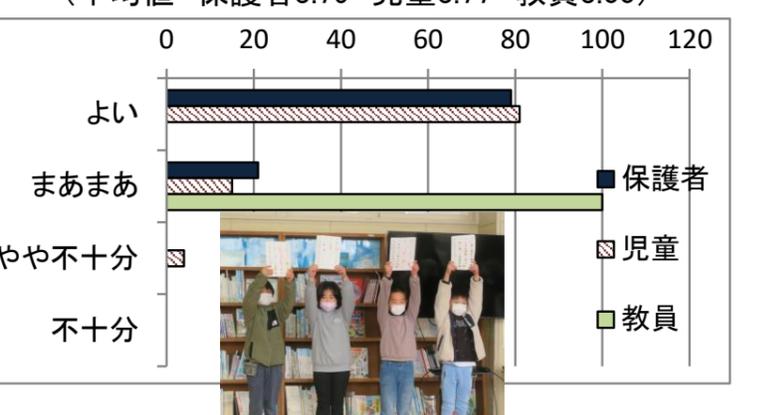
【委員会主催のドッチボール大会】

【2に関するデータ】
 ○集団の一員として自覚ある言動をしているか。
 (平均値 保護者3.86 児童3.77 教員3.20)



【児童総会】

○明るく活力ある学級づくりが行われているか。
 (平均値 保護者3.79 児童3.77 教員3.00)



【みんなで九九挑戦】

Ⅱ 学びを楽しみ、広げ深める子どもの育成

内発的動機付けに支えられた学びを楽しむとともに、互いの考えを共有したり多角的に考えたりするなど、学びを深める指導を行っている。	自己評価A		学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
	前期	おおむね良好	おおむね良好	1年生の元気がすこぶるよい。各学年とも成長の跡がよく見える授業であった。年度末に向け、学力も含め上がっていく要素がたくさん見られた。複式学級の学習指導については、よりよい学びの姿を全職員で共通理解を図りながら進めていってほしい。
年度	おおむね良好	良好	日常的な取組と小中の連携を活かした取組によって学びの充実が図られている。あわせて読書の充実も図られ、学びから豊かな心の育みにつながっていることが高く評価できる。チャレンジ授業における児童同士のつながりある発言も大切にしていってほしい。	

【前期(→年度)】 複式学級が二つになったが、更に子どもたち同士で学びを深められるようにと、日々、試行錯誤しながらチャレンジ授業への挑戦を続けている。子どもたちの学びが充実するよう、よりスキルを高めていきたい。基礎学力について、児童の数値が高くなっている。積み重ねによる定着を児童自身が実感できている結果であると思われる。全国学テも、国語・算数、どちらも、全国の平均通過率を上回った。読書の数値は高いが、今後も、毎日の読書タイムや週末読書を大事にし、読書の質や量の向上につなげていきたい。家庭学習ノートの内容を充実させるために、ノート展でお互いのノートを見合ったり参考になるノートを展示したりする機会を大事にし、意欲につなげていきたい。□

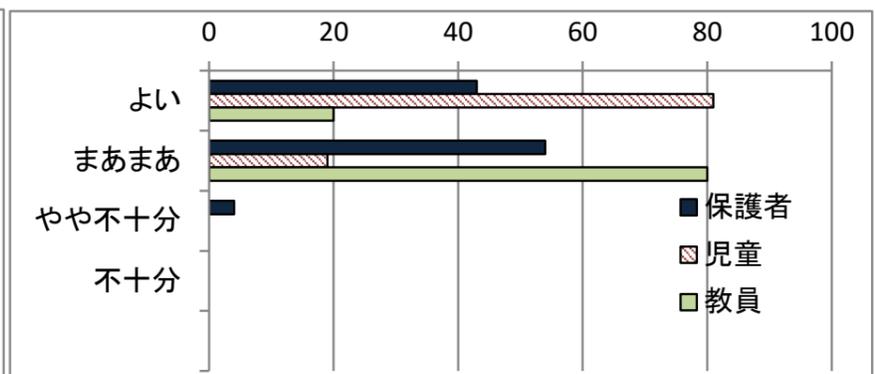
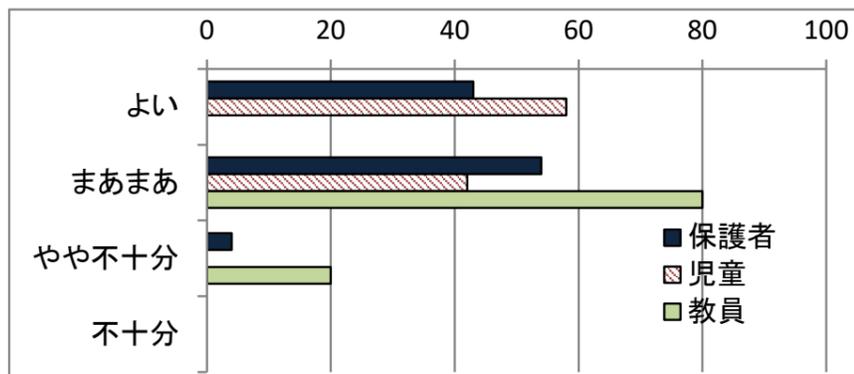
【年度(→次年度)】 学習発表会に合わせてノート展を実施した。北陽中学校と連携し、北陽中学生のノートを借りてノートづくりの参考にするなどの工夫により少しずつ自主学習ノートに改善が見られた。また、チャレンジ授業の取組により、児童同士でつなげて発言する姿が増えてきた。一方で声の大きさや相手を意識した話し方、学習規律など今一度「学び方」の徹底を図っていききたい実態も見えた。花矢図書館やミラクルバナナ等のご協力により読み聞かせの機会が充実し、子どもたちも毎回楽しんで本の世界に浸っている。今後も本への興味・関心を高め、よりよい読書習慣を身に付けさせていきたい。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
3 基礎・基本の定着	(5) 基本的な学習習慣の定着	「学習の約束」「学び方」の徹底	3	3
	(6) 基礎・基本の徹底と学習内容の定着	基本を徹底する授業		
4 学びの多面化・深化	(7) 多様な学びの保障	主体的に学び合う授業	3	3
	(8) 読書活動の充実	図書館まつり、各種読み聞かせ、読書運動等□		

【3に関するデータ】

○基本的な学習習慣が定着しているか。
(平均値 保護者3.39 児童3.58 教員2.80)

○計算、漢字、読み書きなど、学習の基本が身に付いているか。
(平均値 保護者3.39 児童3.81 教員3.20)



【子ども同士の学び合い(経営研)】

【「花矢図書館」「ミラクルバナナ」による読み聞かせ】

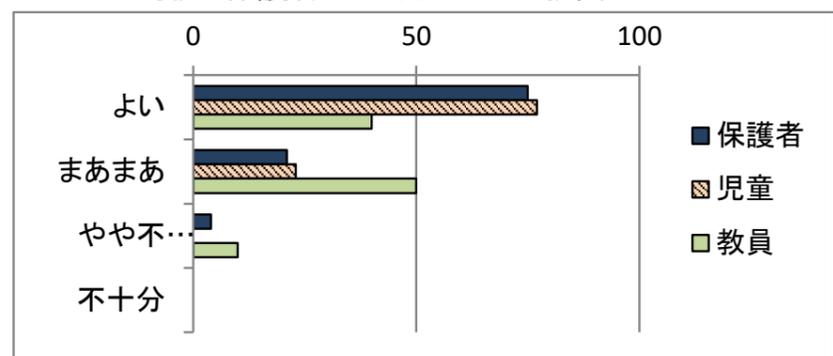
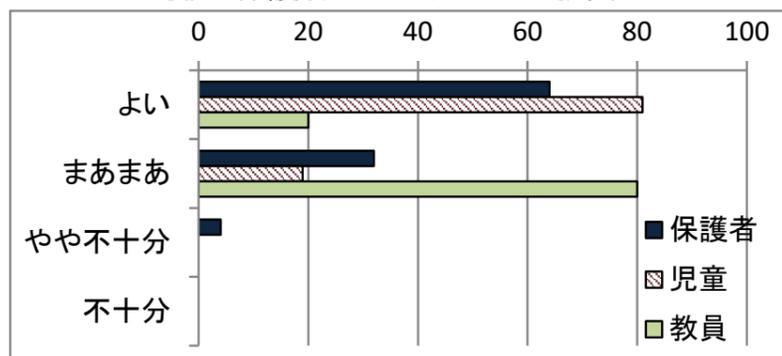
【グループかぜ 読み聞かせ】

【保護者アンケート自由記述より】・親子読み聞かせの感想発表で、1年生の子が自分から手を挙げて進んで発表していたことがすごいなあと思い、自分の子ではないのに成長を感じていました。週末読書で学校や花矢図書館からよく本を借りて、楽しそうに読んでいます。

【4に関するデータ】

○学び合いの充実が図られているか。
(平均値 保護者3.61 児童3.81 教員3.20)

○読書活動が推進されているか。
(平均値 保護者3.71 児童3.77 教員3.30)



【保護者アンケート自由記述より】・校内に掲示している習字や作品、絵、花岡の産業祭や「はち100フェスティバル」等で目にする花岡小学校さんの力作に、がんばっているなあと感じています。これからもみなさんの活躍を楽しみにしています。

Ⅲ チャレンジな子どもの育成

	自己評価A		学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
	挑戦意欲をもち、連携する力と創造性を発揮しながら主体的に活動する子どもを育てている。	前期	おおむね良好	良好
	年度	おおむね良好	良好	「チャレンジ」は、子ども、保護者、教師ともに花岡小の特徴的な活動として認識され、地域も巻き込んだ協働的な取組となっている。今後、児童数の減少に伴い、内容等見直しをもって取り組んでほしい。また、エコリサイクルとの連携は、地域を知り、さらに地域を誇る学びとなっている。今後も上手に活用してほしい。学校の評価が「おおむね良好」であったため、2段階アップができず「良好」とした。実際は極めて良好に近いものである。

自己評価の改善概要と

【前期(→年度)】

6年生を中心としたチャレンジ活動の成功を目指し、全校児童、全職員が同じ方向を向いて取り組んだ。前年度の課題を明確にした上で、今年度の目標・計画につなげられたことがよかった。児童が失敗から課題解決への過程で成長していく様子が見られた。3年生の「アルミ缶活動」や4・5年生の「自然教室」など、各学年に応じた校外学習や体験活動も充実していた。「チャレンジしたい」「自分たちでやりたい」という意欲がどの学年も高まっている。「見直しをもって活動していくこと」や「相手意識をもって活動に取り組むこと」など、次への課題も見付けることができた。その課題について、行事やイベントの時だけでなく、日常化できるよう、さらに繰り返し指導していく。また、普段の授業や委員会活動もSDGsに関連付けながら取り組むことができるよう指導していきたい。

【年度(→次年度)】

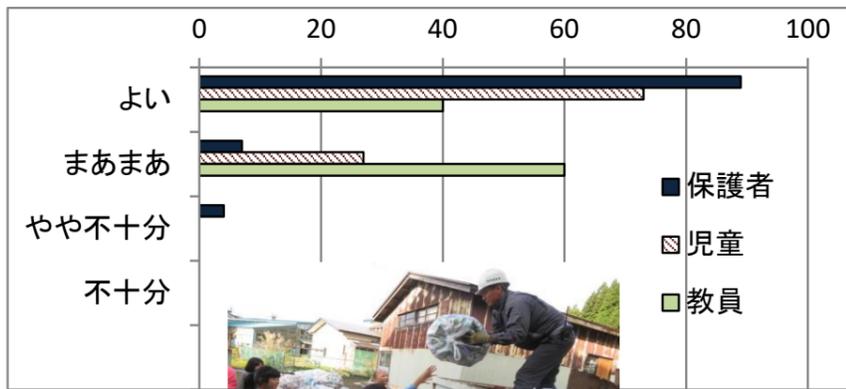
後期も5年生の職場体験チャレンジや、3年生のアイデアあふれるアルミ缶回収活動等と、活動は途切れることなく充実していた。アンケートの結果から、児童も保護者も教職員も、チャレンジ活動を通して概ね楽しく学ぶ学校生活が実現できているという共通の認識である。5年生は、来年度に向けたチャレンジ活動の計画を立て、児童総会で提案することができた。6年生は、そのチャレンジ活動についての助言や励ましの言葉掛けをするなど、来年度を見据えた取組も充実している。委員会の再編についても児童会で協議・検討することとした。

来年度は150周年という節目を意識しながら、定着している活動は継続し、新たなチャレンジに関しては児童の意欲を引き出しながら支援していく。最高学年となる現5年生を中心に、よりチャレンジな活動になるよう導いていきたい。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 チャレンジ精神の高揚	(9)チャレンジ活動(学年・全校)の推進と充実	課題対応能力育成のための各学年及び全校の実践	4	4
	(10)創造性・連携する力の向上	創造性・連帯感を向上させる各種ミーティング 学級の係・委員会活動等の児童活動 SDGsへの取組	3	3

【5に関するデータ】

○いろいろな活動に、勇気をもってつながりチャレンジしているか。
(平均値 保護者3.86 児童3.73 教員3.40)



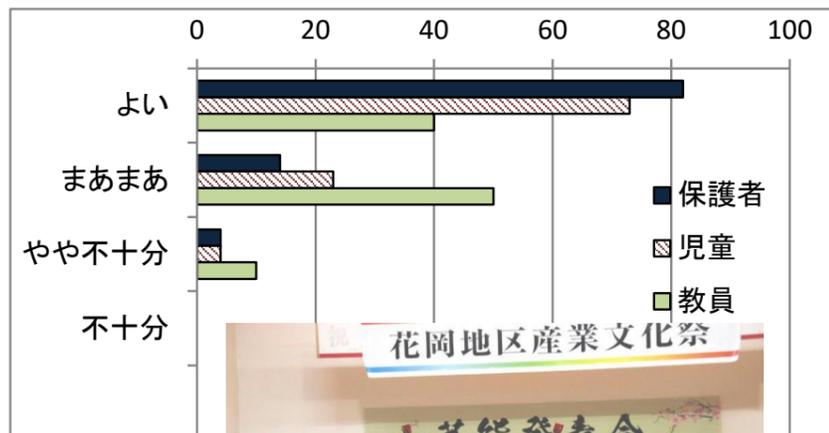
【3年 アルミ缶回収活動】

【保護者アンケート自由記述より】
・毎日楽しく学校生活を送ることができている様子です。
・勉強はもちろん大切ですが、友達と意見交換をしたりしながらいろいろな考え方があるということを学んでほしいと思っている。悩みながらも成長しているかな。
・いつも献身的にご指導くださりありがとうございます。



【火災訓練 煙体験】

○いろいろな行事で、自己有用感やよさの発見、発揮できているか。
(平均値 保護者3.79 児童3.69 教員3.30)



【よさこい 花岡地区産業文化祭にて】



【あすチャレジュニアアカデミー】
(視覚障がいパラアスリートと交流)

IV 保護者・地域との連携

学校の取組がわかりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
	前期	おおむね良好	良好
年度	おおむね良好	良好	花小子どもハローワークやブログでの発信は、花岡小ならではのもの。更なる充実に期待する。地域に対する愛着心や誇りを高める実践については、子ども、保護者、学校で目的が共有され取り組まれていることを高く評価する。子どもたちの成長が、地域に元気を与えていることに感謝する。

自己評価の改善概要と

【前期(→年度)】

今年度もクラブ活動への協力や花岡版子どもハローワークの受け入れ等地域の皆さんには感謝したい。新たに大森土木とのクリーンアップが加わり、地域との連携がさらに充実してきた。保護者アンケートの自由記述や励ましの言葉は温かく、全戸からアンケートが返ってきた。保護者の学校への関心の高さが感じられる。一方で児童数の減少や地域の実情により、これまで実施していた交流等が継続できるかどうか心配される。地域と関わる活動の一つ一つ見直ししていく必要がある。

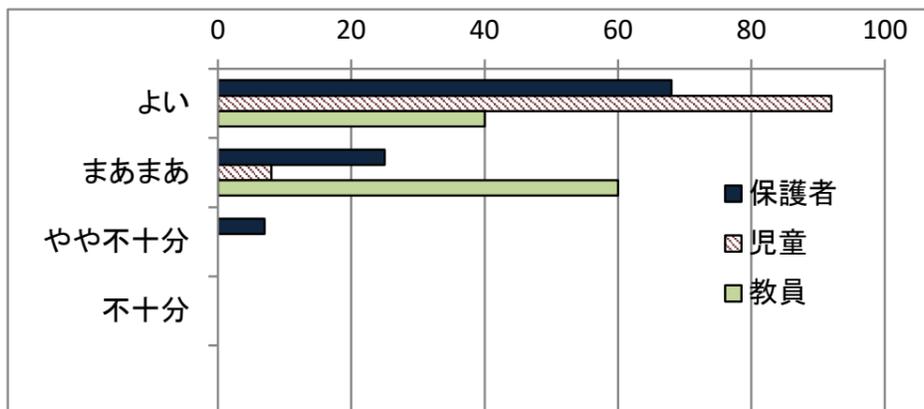
【年度(→次年度)】

学校報や保健室だより、一斉メール等、必要に応じて発信し、保護者との連携もよくできている。行事やイベントは地域全体へも発信することができた。見守りや声かけ、リサイクルへの協力や行事への参加等、地域の方々からはたくさんのご協力をいただいている。子どもたちは地域から大切にされ、地域で育まれているということ強く感じる。地域の方に教わるクラブ活動は、子どもたちも毎回楽しみにしており、生き生きと活動する姿があった。今後、児童数は減少していくが、地域に対する愛着心を育むための活動は実態に合わせて継続していくようにし、目的をはっきりともたせて、より花岡のよさを実感していく実践となるようにしたい。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 情報の受発信	(11)各種たより等の充実と学校開放	学校報・学年だより等での発信 HPの定期的な更新 学校開放や保護者アンケートでの受信	3	3
7 地域との連携	(12)地域に対する愛着心や誇りを高める実践	学習・クラブでの人材活用 花岡2023みんなでプチ運動会、地域探検、職場体験、花小子どもハローワーク等、「幼保小中」間での連携	3	3

【6に関するデータ】

○学校報、学年だより、各種のおたよりは充実しているか。
(平均値 保護者3.61 児童3.92 教員3.40)



【職員アンケート自由記述より】

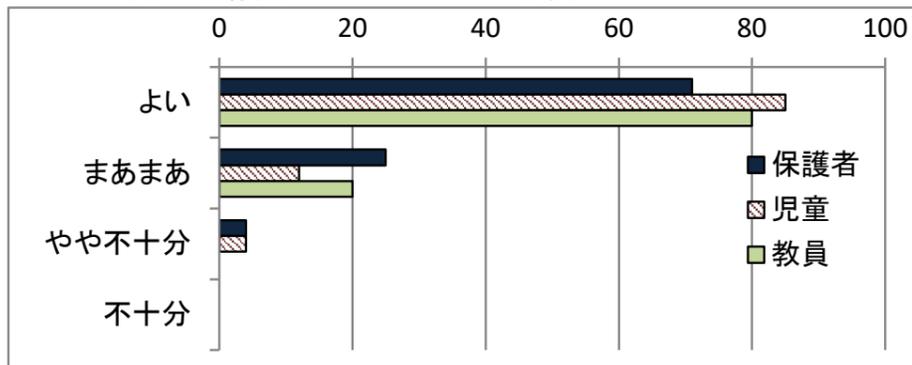
・職場体験では、体験先で、子どもたちがいろいろな面にふれることができるよう配慮していただき『地域の方々大切にされている』『地域の方々に育てられている』という思いを改めて強くした。
・「クリーンアップ」「あすチャレ」「クラブ活動」「ようこそ先輩」など、地域との交流の場や、よい経験ができる場が多くてよい。継続させたい。



【家庭科ボランティアによる授業】

【7に関するデータ】

○地域人材の活用、愛着心や誇りを高める実践がなされているか。
(平均値 保護者3.68 児童3.81 教員3.80)



【薬物乱用防止教室】



【ようこそ先輩】



【5年 職場体験】



【孫守隊・民生児童委員と感謝の会】



【学区にある新聞屋さんを訪問】

	よい	まあまあ	やや不十分	不十分
保護者	86	11	4	0
児童	100	0	0	0
教員	40	60	0	0

	よい	まあまあ	やや不十分	不十分
保護者	68	29	4	0
児童	65	35	0	0
教員	20	80	0	0

	よい	まあまあ	やや不十分	不十分
保護者	86	14	0	0
児童	77	23	0	0
教員	20	80	0	0

	よい	まあまあ	やや不十分	不十分
保護者	79	21	0	0
児童	81	15	4	0
教員	0	100	0	0

	よい	まあまあ	やや不十分	不十分
保護者	43	54	4	0
児童	58	42	0	0
教員	0	80	20	0

	よい	まあまあ	やや不十分	不十分
保護者	43	54	4	0
児童	81	19	0	0
教員	20	80	0	0

	よい	まあまあ	やや不十分	不十分
保護者	64	32	4	0
児童	81	19	0	0
教員	20	80	0	0

	よい	まあまあ	やや不十分	不十分
保護者	75	21	4	0
児童	77	23	0	0
教員	40	50	10	0

	よい	まあま	やや不	十分
保護者	89	7	4	0
児童	73	27	0	0
教員	40	60	0	0

	よい	まあま	やや不	十分
保護者	82	14	4	0
児童	73	23	4	0
教員	40	50	10	0

	よい	まあまあ	やや不十分	
保護者	68	25	7	0
児童	92	8	0	0
教員	40	60	0	0

	よい	まあまあ	やや不十分	
保護者	71	25	4	0
児童	85	12	4	0
教員	80	20	0	0